



# おおにしだより

第27号

平成25年9月13日

発行所：栃木市立大平西小学校校長室

## 2学期を迎えて

☆充実した学校生活を目指します☆

2学期がスタートしました。健康そうに日焼けした子どもたちが、それぞれの思い出を胸に元気いっぱいに登校してきました。事故や事件にも遭わず、どの学年の子も元気に登校できたことを何よりもうれしく思います。

夏休み期間中も、保護者、自治会、育成会、ボランティアの皆様が適切なご指導や温かい見守りをしてくださったおかげと、心より厚く感謝申し上げます。



ミュージック部の発表

夏休みを前に、私は保護者の皆様に対して「親から子に伝えるべきことを、しっかりと子どもたちの心に刻みつけてけてほしい。」とお願いしましたが、いかがでしたでしょうか。ご家庭では、命の大切さを伝え、他者に優しく接することを伝え、共に生きることの大切さを伝えてくださったことと思います。そして、“**家族の絆**”を確認し、深めていただけたことと思います。

どの子も楽しい夏休みを過ごしてきたのでしょうか。各教室では、家族や友だちとのふれあい、地域行事への参加、自分で課題を決めて取り組んだ自由研究、ミュージック部の練習、山本有三記念「子ども朗読フェスティバル」参加、学童野球等の各種スポーツ活動等、充実した夏休みの思い出を語り合う姿があちこちで見られました。

教職員も2学期の準備に努めてまいりました。本校の子どもたちの願いと期待に応え、快適でしかも充実した学校生活が過ごせるよう、また、子どもたち一人一人の個性を大切にしたい教育ができるよう努力してまいります。

2学期は、運動会をはじめ大きな行事もたくさんあります。真剣に学習に取り組む意欲、積極的に参加し活動する態度、協力と思いやりの心など、各学年の発達段階に即して、身につけさせ、伸ばしていきたいと考えます。

いきいき“おおにしっ子”たちのがんばる姿に、励ましの言葉をお願いいたします。



### 秋季大運動会 スローガン

**「優勝めざして一致団結 西小魂ふりしぼれ**

9月28日（土）は、子どもたちが待ちに待った秋季大運動会です。本番まで約2週間となりましたが、連日、厳しい残暑が続いているため、学校では熱中症対策を万全に行いながら練習を行っています。

子どもたちにとって、また、ご家族や地域の皆様にとって、思い出に残る素晴らしい運動会となることをお願いいたします。

学校では運動会のねらいが十分に達成できるよう、子どもたちを励ましてまいりたいと考えます。

保護者の皆様、地域の皆様には、力一杯演技をする子どもたちの姿に、惜しみない拍手をよろしくお願いいたします。また、PTA役員の皆様には、前日の準備及び当日の係活動等、大変お世話になります。どうぞ、よろしくお願いいたします。

### 運動会のねらい（教育目標との関連）

- (1) 思いやりの心をもち、協力して参加できる。 【やさしい子】
- (2) ルールやきまりを守って、競技に参加・応援できる。 【考える子】
- (3) どんな困難にも、あきらめずに立ち向かうことができる。 【つよい子】

## **P T A奉仕作業で快適な学習環境に！**

8月31日（土）、P T A奉仕作業を実施しました。当日は、大勢の保護者、教職員、それに118名ものお手伝いの子どもたちが参加して、校舎内外をきれいにしました。

自治会ごとに担当箇所を決めて、校舎周辺・花壇・フェンス添い等の除草、トイレや窓流し等の清掃を行っていただきました。普段は、なかなかきれいにできないところですので、本当に助かりました。

どの作業でも、一人一人が熱心に作業に取り組んでくださいました。P T A会員としての意識の高さは、本校のすばらしい特色であると言えます。教職員もP T A会員として参加し、作業を通して保護者の方々との交流を深めることができました。また、親と一緒にがんばる子どもたちの生き生きとした表情が大変印象的でした。

貴重な時間を割いて、ご奉仕くださいました全ての皆様に感謝申し上げます。



## **「路傍の石」1, 100冊寄贈される！**

本校の図書室には、『アニメ路傍の石』（金の星社）という本が7冊あることは、すでに「おおにしだより第24号」でご紹介いたしました。

「たった一人しかない自分を、たった一度しかない人生を、本当に生かさなかったら、人間生まれてきたかいがないじゃないか。」という言葉から、本校の子どもたちは、「夢や理想に向かって力強く生きることの大切さ」を学んでいます。この夏休み中にも、実に多くの児童がこの本を読みました。

栃木市の名誉市民である山本有三先生は、生前、日本人として夢や理想に向かって力強く生きること、人と人とがしっかりと支え合って明るい未来を築くことの大切さについて多くの言葉を残しています。そこで、先生の言葉を生かして、本市で育むべき「生きる力」を、『たった一人しかない自分のよさを伸び伸びと発揮し、たった一度しかない一生を、自らの意志で生き生きと切り拓く力』とし、「生命尊重・人権尊重」と「絆」を重んじる精神を基本理念に据えた教育を計画的かつ着実に推進していくことが求められています。

本校では、この「生きる力」を子どもたちに育むとともに、社会の変化と時代の要請を的確に受け止めながら、保護者や地域の皆様の負託に応えることができるよう、全教職員が一丸となって取り組んでおります。

さて、この度「N P O法人山本有三記念会（大木洋三会長）」と有三先生のお孫さんから栃木市に対して、小学生用の「路傍の石」（対象学年：中学年以上）700冊と中学生用400冊の計1, 100冊もの寄贈がありました。

9月5日、栃木市教育委員会から大平西小学校分として、32冊が届きましたので、本校では3年生以上の各学級に4冊ずつ配布しました。今後は、『山本有三文庫』として保管し、貴重な教材として児童の教育に活用していきたいと考えております。

## **栃木市防災訓練～本校を会場に実施 H25. 9. 22（日）**

栃木市では、大規模な地震が発生したとの想定のもとに、地域住民を中心に市及び防災関係機関が一体となった実践的かつ具体的な訓練を実施しています。この訓練により、市民の防災意識高揚、関係機関相互の連携強化、職員の災害応急対策の迅速化を図ることを目的としています。

本年度、大平地区の訓練では本校が会場となりました。そのため、訓練当日は、本校駐車場並びに周辺道路は関係車両以外は通行・駐車できません。22日（日）午前中を予定しておりますので、ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

なお、今回の訓練では「富田自治会」の皆様が多数ご参加いただけるとのことです。ご苦勞様です。本校でも全教職員が参加し、地域や関係機関の皆様との連携強化に努めてまいりたいと考えます。どうぞ、よろしくお願いいたします。

### **【訓練想定】**

＊ 9月22日（日）午前8時30分頃、栃木県県央部（宇都宮市）を震源（深さ5 Km）とするマグニチュード8. 0の地震が発生、栃木市で震度6の揺れを観測した。

本市を襲った地震により、特に市街地における木造家屋の倒壊が相次ぐとともに、各所で火災が発生。これに伴い多数の死傷者が出たほか、道路、橋梁、通信、電気、ガス及び水道等、ライフラインに大きな被害が発生しており、余震等による二次災害を避けるため付近住民が避難所に集まってきている。

